第2740地区　創立／1990年9月29日　認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：香月　章彦 / 副会長：田添　直記 / 幹事：吉野　英樹

持続可能なインパクトを生み出そう



2026～2027年度クラブスローガン

受け継ぎつなぐ奉仕の輪
～みらいをみんなでみつけよう～

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：委員長 / 澤田　磨　副委員長 / 橋口　輝宗
委員 / 鶴田　明敏、西村　浩輝、古川　直記、平岩　義明、岡　光正

本日の出席率９４．２３％：会員数５２名・出席３２名・欠席３名・出席規定免除会員１２名・ビジター０名
前々回の修正出席率９３．３３％：出席３３名・メークアップ１名・

会長挨拶 / 香月 章彦君



皆様、こんにちは。本日は、この後の卓話で、佐世保市長の宮島大典様からお話を伺うことになっております。そこで佐世保のこれからと、私たちにできることについて、少しお話ししたいと思います。若い人たちに、「日本で、そして世界で活躍してほしい」という気持ちがある一方で、佐世保の未来を考えると、「若い人にこのまちに残ってほしい」という思いも強くあります。ただ、そう願うだけでなく、「ここで働きたい」「自分の挑戦を応援してくれる人がいる」と感じてもらえることが、大切ではないでしょうか。また、一度佐世保を離れても、「いつか戻りたい」「離れていても関わりたい」と思えるまちであってほしいと思います。まちづくりというと、大きな話に聞こえますが、このまちで暮らし、仕事をする私たちにも、身近にできることがあるはずです。例えば、仕事の面白さを若い人に伝えること。「やってみたい」という声に耳を傾け、相談に乗ること。私たちの経験や人とのつながりが、誰かの新しい一歩を後押しするかもしれません。そして、こちらが教えるだけでなく、若い人たちの考えから学ぶ姿勢も、大切にしたいものです。本日の宮島市長の卓話も、佐世保のこれからに目を向け、「私たちには何ができるだろうか」と考える機会にできればと思います。これからの仕事や奉仕活動につながるヒントを、皆さんと一緒に見つけられることを楽しみにしております。

Report 幹事報告 / 吉野 英樹君

１．来信

◆ロータリー米山記念奨学会

・ハイライトよねやま　318完成

結婚記念日

９月１７日　芥川圭一郎・香織　ご夫妻
９月１５日　本田　　実・由美　ご夫妻
９月１５日　片桐　康利・彩　　ご夫妻

ニコニコボックス

会長 香月章彦君、副会長 田添直記君、幹事 吉野英樹君
宮島市長様、本日は業務多忙の中でのご来訪、誠にありがとうございます。
皆様、こんにちは。「話し上手は聞き上手」という言葉があります。相手の話をしっかり聞くことで、新しい気づきや学びが生まれます。本日の例会でも、多くの方のお話に耳を傾け、有意義な時間にしていきましょう。本日も、どうぞよろしくお願いいたします。

四元 清安君
九州管内警察局長、九州交通安全協会長、交通安全功労役員表彰を受けましたので、ニコニコします。

崎元 英伸君
本日、四元清安君が九州管内警察局長、九州交通安全協会長、交通安全功労役員表彰を受けられました。おめでとうございます。これからも交通安全に気をつけてください。

本田 実君
結婚祝いのお花ありがとうございます。

馬場 貴博君
佐世保市長宮島大典様のご来訪を心より歓迎いたします。公務ご多忙な中、誠にありがとうございます。

芥川 圭一郎君
結婚祝いのお花ありがとうございます。
週末は１年ぶりに中央会へ参加します。同組の方々、申し訳ありません。

片桐 康利君
結婚お祝いありがとうございます。20年目になりま

〒857-0875 佐世保市下京町10-6 太陽アネックスマンション306 号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo.rc@theia.ocn.ne.jp

す。
松尾さんとたまたま席が一緒になり、美味しいお酒をご馳走していただきました。松尾さんはお子様が小さいので、あやすのに大変そうでしたが、幸せそうで自分の子供の小さい頃を思い出しました。お祝いありがとうございます。

川崎 圭君

7月末頃より全く出席することができなくなってしまい、申し訳ございませんでした。
佐世保シーサイドフェスティバル2026、無事に終了いたしました。佐世保中央ロータリーの皆様には、大変ご協力ご理解をいただきまして、本当にありがとうございました。簡単にですが、お礼と生存報告でニコニコいたします。

本日の合計	25,000円
本年度の累計	302,000円

本日の卓話

佐世保市長
宮島大典様



令和8年度当初予算
未来に踏み出すステップへ　明日への扉を拓く予算

佐世保市は、「人口減少」という大きな課題の中にあり、「静かなる有事」と呼ばれ、「労働力不足」や「市場縮小」、「社会保障の負担増」などを招きます。
佐世保市の現状としては、出生数から死亡者数を差し引いた「自然増減」では、毎年2,000人を超える自然減、転入・転出による「社会増減」では、令和7年の状況で、外国人を含まない日本人のみで1,813人の転出超過となっています。
これらの課題解決に向けて、市民の皆様と佐世保の未来を語り合う対話の場として「佐世保市人口減少対策市民会議」を設置し、委員の皆様にご協力をいただきながら、人口減少対策に取り組んでまいります。
また、令和6年度に始動した「シティブランディング・プロジェクト」における「子育て」「産業」「地域資源」「文化」の4つの柱を中心にオールＳＡＳＥＢＯで共創のまちづくりに取り組んでいます。
「子育て」分野では、令和8年度から全ての中学生の給食費無償化を実現し、国の施策とも相まって、小学校給食費無償化とあわせて義務教育期間で完全無償化を実現しました。
また、避難所に指定された小中学校の体育館への空調設備について、県内自治体に先駆けて着手し、今後、全ての市立小中学校体育館への空調設備を年次計画的に進めます。
次に「産業」「地域資源」の分野では、本市の防衛関連産業に関わる企業が集まっている強みを活かし、令和7年度末に策定した「佐世保市基地経済ビジョン」に基づき、防衛関連産業の生産基盤、供給網の強化を図ってまいります。
さらに、ハウステンボスと連携し、ハウステンボスへの来客を市内へ誘致・周遊を促し、俵ヶ浦半島の自然を活かした観光や高島の魅力を活かした宿泊して楽しむ観光、日本遺産認定10周年を迎えた「鎮守府」と「窯業圏」、今年11月に供用開始する「させぼ立神近代化歴史公園」を巡るツアーなどにつなげてまいります。
「文化」分野では、若者の活躍を応援し、若者の夢を実現するまちを目指します。若者活躍支援法人を設立し、若者と地域社会、産業界をつなぐ「ハブ」として、出会いや関わりの機会を増やしていきます。
また、アーバンスポーツ施設の整備により、市民が誇りと愛着を持てる拠点とすることや10月9日に開催される「ツール・ド・九州２０２６佐世保クリテリウム」を通じて、佐世保の認知度とブランド価値を国内外でさらに高めます。
次に、「物価高騰経済対策」の取組みをご説明します。水道基本料金の4か月分減免や地域内経済循環の更なる強化を目的に「させぼｅコイン」発行事業を実施しております。
これらに加えて、昨年に引き続き、スポーツ・文化活動を頑張る小中学生の大会出場経費の支援や０～２歳児を養育する家庭の経済的負担軽減のための補正予算などを計上・提案しました。
最後に皆様へ節水のお願いです。ご存じのとおり少雨が続き、ダムの貯水率が低下しており、9月3日から南部水系地域に「減圧給水制限」を実施しております。今後も少雨傾向は続く見込みであることから、引き続き節水のご協力をお願いします。





ＳＡＡ：古賀 勝
次回例会９月２４日　１２：３０～